

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 6

2016 No.741

3 はじめの言葉

4 正規／非正規雇用など

矛盾大爆発の予兆で一杯

田原文夫

G7 伊勢志摩サミットが終わった。議長国日本の安倍首相は、今現在の経済状況を「リーマンショック前夜」だと発言し、各国首脳の顔色を窺った（つもりのようだった）。しかし、各国首脳の反応は安倍議長に冷淡なものだった。容易に、迫る参議院選を控えての日本政府の勝手な思惑、と見破られてしまっていたようだ。世界規模で起こっているテロ活動も、とどのつまりは、蔓延している不公平／不平等／所得格差感が根底にあることは明白な事実である。不公平／不平等／所得格差は、国内、地域、個人のレベルでも蔓延している。

10 情報社会を考える その69

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

荘園という租税回避手段

京都に都が置かれていた平安時代すなわち平安の御代は、我が国の歴史上、最も輝いていた一時代だと言っていいだろう。和歌／書画／物語から残存している建築物や建築手法など、有形無形の我が国の文化を語るとき、絶対にはずせない時代だ。そうした華やいだ数多の文化遺産の背景（原動力）になったのが、貴族の存在であり、豊富な財力だったと言われている。歴史的事実として伝えられる貴族たちの優雅な生活環境として書院造りの屋敷がある。それに対して、一般庶民の中には、弥生式時代さながらの竪穴式住居に住んでいる者も多かったと言われる。着る物にしても、十二単に着飾る貴族女性に対して、一般人は単衣一枚、裸足の生活だったともいう

12 オープンガバメント OG 30

情報社会をすすめる その64

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALSの一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つのCALSという概念（言葉）で1995年から2005年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

19 連載 アーキテクチャ論 (62)

テストングアーキテクチャのロードマップ

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報科学研究科 教授

IoT やスマートデバイスなどが社会に浸透するとともに、IT システムのコモディティ化が進行している。このため、IT システムの迅速な構築とともに、構築された IT システムの安全性保証を実現する、テストングの高度化が求められている。本稿では、これまでの個別的で断片化されたテスト対策の寄せ集めではなく、テストング全体を通じたバリューチェーン (TVC) を形成する新たな取り組みを提案する。

30 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その17

続【緊急特別編】

「人口減少／少子高齢化時代の最大の敵は戦争」

立憲主義 (その1)

Dr.ベスト

昨年は第二次世界大戦 (太平洋戦争) の終戦から 70 年に当たる節目の年であった。赤紙一枚で戦場に派遣され命を落とした軍人は約 200 万人、一般の人は約 100 万人合わせて約 300 万人もの人が犠牲になっている (当時の人口の約 3%)。その戦争の影響は中国やアジアを中心として、この戦禍で犠牲になったのは 2000 万人以上とも言われている。欧米などを含む第 2 次世界大戦全体の犠牲者の総計は、5000 万～8000 万人とされる (8500 万人とする統計もある)。当時の世界の人口の 2.5% 以上が被害者となった (含む [飢饉](#) や [病気による死者](#))。人口減少／少子高齢化時代の今日において、貴重な人材 (特に若い世代) が二度と 70 年前に経験したような悲惨で無意味な戦争の惨禍に巻き込まれることのないようにしなければならない。

37 IT 新時代とパラダイム・シフト

第79回 パナマ文書の衝撃と

非営利組織 ICIJ の果たした役割

根本忠明

今年 4 月のパナマ文書の公開は、世界に激震を起こした。世界の要人や富豪などによるタックスヘイブンによる租税回避の実態が公開されたからである。この世紀の情報公開に中心的役割を果たしたのが、日本では馴染みの薄い米非営利組織 ICIJ である。今回は、パナマ文書と ICIJ の関係を軸に、国境を超えた国際調査報道についてみていく。

39 続インテリジェンスへのいざない 77

舩添都知事の言い訳に見た

ツマラン男のセコさ

今井 武

これほどお粗末な都知事がいたろうか。家族との温泉旅行までが政治活動だと言い張り、足を伸ばせる風呂に入るのも政治活動のためと言う。聞けば聞くほど、セコい。九州地方の方言「つまらん」を使わせていただきたい。ホントに「ツマラン男」である。

42 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2016年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 289頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 266頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなチーム
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp